

STEP ^{ゼロ}0 セーフスペース(安心できる空間)づくり

アクティビティ STEP 0-1 セーフスペース(安心できる空間)づくり

学習者の児童や生徒が、安心して参加し、発言ができるような場づくりをするためのアクティビティです。共に活動に取り組む仲間として、学習者が相互に尊重し、参加し、発言ができるようにするにはどんなガイドライン(約束)があれば良いかを学習者自身が考えます。例えば、発言者の方を向いて話を聞く、無理強いをしない、拒否権がある、ここで話したことは他の場では言わない、などの意見が出されるかもしれません。また、すでにクラス(グループ)にある約束ごとなどと繋げて考えるよう促すなど、多様な決め方が可能です。

目的: 学習者が見方や感じ方は人それぞれ違って良いことを理解し、異なる意見や価値観を尊重できるようになる。人は誰もが人間として尊重されるべき尊い存在であることを理解できるようになる。

内容: 学習者が相互に尊重し、安心して話し合いや活動ができるようなガイドライン(約束)は何かを考える。

所要時間: 15分~30分

実施基準: ★★★★★

対象: 小学校低学年~

形式: グループワーク / 全体

用意する物: 大きな模造紙と付箋紙、ペン (黒板やホワイトボードに書き出し、あとで清書するなども可)

▼ワークの進め方:

1. ムードづくりをする

これから、社会問題を解決するためのアクションをグループで取り組むことを伝える。そのためには、グループの仲間を尊重しあい、楽しく安心して話し合いをしたり、活動をすすめたりすることが必要であることを伝える。では、どんな環境や態度なら安心して話すことができるのかを想像してもらう。このとき、学習者がリラックスして考えられるようなBGMを流したり、指導者自身が穏やかに語りかけたりすると良い。

2. お互いに期待することを言い合う・確認する

各グループ(または、一つのグループ)でガイドラインを決めるために、思いつく内容を発言してもらう。「人前で意見を言う時、緊張せずに喋るには周りにどんな反応をして欲しい?」「グループ・ディスカッションで、安心して話すにはどのような環境(態度)が必要?」というような、期待する要素を想像できるように問いかける。すぐに意見が出なかったり、決まった学習者のみが発言したりする場合は、一人で考える時間をとる。このとき、複数の付箋を各人に配布し、1つの意見を1枚の紙に書くように伝える。学習者が偏見を持っていたり、何も考えられずにいたりする場合があるが、指導者はそれらを否定せず、まずは受け止める。各人がどのようなことを期待しているのかをここでは確認し、安心して意見を言える環境とはどんな場かを問いかける。相互に尊重し多様な価値観を認め合いながらすすめることの重要性に気付くよう促す。

3. セーフスペースのためのガイドラインを作る

2. で出た意見を踏まえて、グループで守っていきたい約束を確認していく。このとき、出された意見に違和感や懸念があるかを尋ねる。人は賛成かどうかを尋ねられるより、懸念点を尋ねられる方が異論を発言し

やすいためである。以下の要素が学習者から出されなければ、指導者が追加で問いかけなどして、以下の観点がカバーされるようにフォローする。

- ・**Welcome:** 自分と異なる意見でも、否定せず、受けとめる
- ・**Challenge:** それぞれが積極的に参加することで、相互に高め合う
- ・**Choice:** お互いに無理強いはしない
- ・**Confidential:** ここで話したり聞いたりしたプライベートなことを他の場で人に言わない

4. 他の約束ごと等と繋げる、ガイドラインは変更可能!

学校や学級単位ですでに話合いの約束ごと等がある場合、それらに繋げるのも良い。また、「FTC チェンジメーカー教育プログラム」を進めていく中で、追加したり変更したりしたいガイドラインがあれば、誰でもいつでも提案ができ、グループ(クラス)の仲間と確認しあってガイドラインのアップデートができることを伝える。

5. 掲示する

グループ(クラス)で決めたセーフスペースのためのガイドラインの文言を模造紙に書いて目に入る場所に貼りだす。問題があった場合は「みんなで作った約束ごとだよ」と指摘して内容を思い出すよう促す。

※「FTC チェンジメーカー教育プログラム」のステップを進めていく中で、学習者のモチベーションが下がったり、問題が発生したりした場合は、いつでもセーフスペースの内容は追加や修正できることをその都度伝え、みんなで協力し、相互に助け合えるようにサポートする。

セーフスペース 仲間を信頼し成功させるために

- ・積極的に参加する。
- ・みんな同じ立場。上から目線な態度はとらない。
- ・ワンマイク。誰かが話しているときは、話さない。
- ・意見を最後まで聞く。
- ・批判・否定はしない。
- ・自分と違う意見だったからと言って、笑ったり、後からこそこそ話したりしない。
- ・相手の意見をまずは受け止めてから自分の意見を伝える。

- ・グループ内で話した個人的な話を、他のグループの人に勝手に話さない。
- ・話したくないときはパスもOK!

- ・聞いているよ、を表すために...
 - うなづく!
 - 顔を話している人の方に向ける!
 - 目を合わせる!
 - 何か疑問があったら、どんどん質問する!

参考:小学6年生の学級で作成したセーフスペースの内容(ガイドライン)